

青の塔 (2000)

BLUE TOWER

メディア 映画
ジャンル ドラマ 青春
製作国 日本
色彩 Color
時間 146分
初公開日 2004/07/24
公開情報 アルゴ・ピクチャーズ＝スーパーサウルス

【解説】
TVディレクターとして家族や思春期の若者をテーマに数多くのドキュメンタリーを製作してきた坂口香津美監督が、「カタルシス」（2003年11月公開）以前に手掛けた長編劇映画デビュー作。妹の喪失という悲劇を抱えひきこもりを続ける青年が、ひとりの傷ついた少女との出会いを通して、自立へと向かう姿をリアルに描く。
運河と化学工場のある街で母と2人暮らしをしている19歳の青年、透。子どもの頃に崖からの転落事故で妹を失った彼は、未だに妹を助けられなかった自分を責め、心を痛め続けていた。母は、そんなナイーブすぎる息子を理解することが出来ず、母子の間の溝は深まるばかりで、いつしか透は自分の部屋で昼夜逆転の、孤独な“ひきこもり”の生活を送るようになってしまう。そんなある冬の夜、透は誰もいない運河で、傷つき倒れていた少女を救出する。少女もまた透と同様、心に深い傷を抱え、かろうじて生きている存在だった。

【クレジット】
監督 坂口香津美
プロデューサー 落合篤子
脚本 坂口香津美
撮影 長谷川貴士
美術 清水大輝
編集 坂口香津美
音響監督 山下博文
音楽 中村佑介
録音 山下博文
録音 野口昌利
照明 舞草剛
出演 中村佑介 透
さわ雅子 母・昌子
前沢美沙 少女・緑